



復活第74回（通算94回）

H I 盃 選 手 権 試 合 全 三 菱 庭 球 大 会

2025年10月24日（金）・25日（土）・26日（日）

M U F G パーク

明治安田 グリーンランドコート

東京海上日動 多摩コート

三 菱 庭 球 同 好 会

目 次

ご挨拶	1
HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について	2
HI盃NAVI 2025(第10回)	3
HI盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項	4
諸注意事項	8
大会次第	9
HI盃選手権試合、女子シングルストーナメント組合せ	10
男子ダブルス、女子ダブルストーナメント組合せ	11
140オトーナメント組合せ	12
120オトーナメント組合せ	13
東西対抗試合組合せ	14
コート時間割	15
大会会場・懇親会会場案内図	18
2024年度 第73回大会 優勝者	22
HI盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表	23

開会式への参加のお願い

第3日(10/26)出場予定の選手は、8:30からMUFG
パークにて開会式を行いますので、必ずご参集ください。

ご挨拶

三菱庭球同好会
会長 隅修三



三菱庭球同好会 会長の隅でございます。

本年度も本大会が盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年度は、HI 盃 100 周年という節目の大会を無事に終え、第二世紀の幕開けを皆様と共に迎えることができました。改めまして、これまで大会の創設・発展に多大なるご尽力を賜りました岩崎家の皆様、歴代会長をはじめ、関係各位に心より深く感謝申し上げます。

昨年度に初めて本大会へ携わりましたが、各企業による運営準備、大会当日の白熱した試合、そして皆様との交流を通じて、随所に Horizontal Integration(三菱グループの連携)と処事公明(フェアプレー)の精神を感じることができました。会社や世代の垣根を越えて一堂に会するこの機会は、三菱グループ各社にとっても非常に意義深く、ともに大会を創り上げる姿はまさに三菱グループの絆の象徴と言えるでしょう。

会長 2 年目となる本年は、昨年に続きジャパンオープンを現地で観戦するとともに、弊社グループメンバーの球出し練習に交じり、汗を流してきました。テニスに触れる機会が増える中で、自らが思い描くプレーを実現する難しさを実感しておりますが、MUFG パークにて選手の皆様が存分に実力を発揮され、素晴らしい試合が繰り広げられることを心より願っております。

今年度は、試合方式の変更や東西対抗戦の規模拡大など、運営面でも新たなチャレンジに取り組んでおります。さらに昨年度エントリーのなかった倉庫、ニコン、製鋼、地所、電線、ガス化学の参加により、大会の輪が一層広がりました。伝統を重んじつつ進化を遂げる本大会は三菱グループの姿とも重なる部分があり、スポーツの場からグループの発展に寄与すべく、私自身も皆様と一体となって尽力してまいります。

最後に、大会運営にご尽力いただいた幹事会社の電機、製紙、ニコン、そして会場をご提供いただいた銀行、海上、生命の皆様に、心より感謝申し上げます。

HI盃選手権試合と全三菱庭球大会について

HI盃選手権試合の歴史は、1922年(大正11年)にまで遡ります。

この年の10月、ロンドンにご外遊中の岩崎彦禰太様から三菱倶楽部庭球部に銀製カップが寄贈され、そのイニシャルをいただき、「H.I.ロンドンカップ」と名付けられました。翌1923年(大正12年)、このHI盃を争って第1回全三菱男子シングルス試合(HI盃選手権試合)が開催されました。その後、毎年定例の行事として挙行され、今年で101回を迎えます。

これに先立ち、関東関西戦が1916年(大正5年)から開催されており、本大会は今年で107年目を迎えます。1952年(昭和27年)の復活第1回HI盃選手権試合／東西対抗戦(戦争の為1943年(昭和18年)から中断)に際しては、新たに「100オトーナメント(45才以上ダブルス)」「以降105才、110才及び115才を経て現在では「120オトーナメント」」が加えられました。1972年(昭和47年)には、岩崎操子様よりカップが寄贈され、「女子ダブルス選手権試合」が設けられました。1983年(昭和58年)には、岩崎寛禰様よりカップが寄贈され、65才以上のペアによる「130オトーナメント」(2013年(平成25年)から「140オトーナメント」に変更)が設けられました。2006年(平成18年)には、三菱庭球同好会名で「男子ダブルス選手権試合」が設けられました。そして、2014年(平成26年)に、岩崎美智子様より優勝盃が寄贈され、「女子シングルス選手権試合」が設けられ、男女とも同じ種目の整備が完了しました。

これらのHI盃選手権試合を中心とした各種目庭球試合の総称が「全三菱庭球大会」であり、現在では、三菱企業グループ25社が参加し、各地区の予選も含め、全国的なレベルでますます盛んに繰り広げられています。



第1回HI盃(大正12年東京・染井コート)



フェアプレイ —— 処事光明

審判長 牧村祐一

この度、武田さんの後任として審判長を拝命した牧村です。どうぞよろしくお願い致します。武田前審判長におかれましては、7年の長きに亘り、コロナ禍を乗り越え、HI 盃 100 周年記念大会を成功に導かれました。そのご功績に深く感謝申し上げます。



さて、審判長はルールの番人でありますので、今般、JTA のテニスルールブックを読み直してみました。新たな発見はありませんでしたが、ルールの底流には共通の精神が息づいているように感じました。それが「フェアプレイ」です。

フェアプレイの源流は、19 世紀の英国パブリックスクールにあります。イートン校やラグビー校といった名門校では、スポーツが教育の中核に据えられ、試合に勝つことよりも、いかに正々堂々と戦い、敗れてなお高潔であることが重んじられました。ここから生まれた「グッドルーザー (Good Loser)」の精神は、フェアプレイの最も純粋な形といえるでしょう。

その精神は、1974 年にユネスコ、国際フェアプレイ委員会の「フェアプレイ宣言」に継承され、オリンピック、世界のスポーツ界に展開されます。宣言では、フェアプレイとは、単なるルール遵守にとどまらず、友情、敬意、連帯、そして健全な精神に基づいた行動と定義されています。

フェアプレイは、Horizontal Integration と共に、本大会の大会精神の一つです。これは、1934 年に三菱商事が岩崎小弥太社長の訓示をまとめた三菱三綱領の一つ「処事光明」、すなわち Integrity & Fairness を根幹とする理念に基づいたものであり、今日に至るまで、諸先輩方によって大切に語り継がれてまいりました。

このフェアプレイをより具体的に体現するために、皆さんに一つお願いがあります。本大会は JTA のルールに準拠して行われます。JTA はルールを補完し、フェアプレイを推進する活動として「セルフジャッジ 5 原則」を提唱しています。

1. 判定が難しい場合は「グッド」!
2. 「アウト」、「フォールト」はボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき!
3. サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
4. ジャッジコールは、相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
5. コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはない!

この原則の根底には、「疑わしきは相手に有利に」という姿勢があり、三菱テニスプレーヤーの矜持としたいものであります。第二世紀を迎えた本大会において、改めてフェアプレイの大会精神を認識し、今年も素晴らしい大会となることを期待しております。了

HI盃選手権試合・全三菱庭球大会開催要項

幹事会社 三菱電機株式会社
三菱製紙株式会社
株式会社ニコン

1. 大会日程

日 程	種 目 等	会 場	集合時間等
第 1 日 10月24日(金)	[140才・120才ダブルス] ブロック別リーグ戦	海上 多摩コート (120才ダブルス) 生命 グリーンランド コート (140才ダブルス)	試合開始15分前
第 2 日 10月25日(土)	[HI盃]1回戦 [女子シングルス] ブロック別リーグ戦 [男子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [女子ダブルス] ブロック別リーグ戦 [140才・120才ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・2回戦	MUFGパーク	試合開始30分前
第 3 日 10月26日(日)	[HI盃] 準決勝・決勝 [女子シングルス] 決勝 [男子ダブルス] 決勝トーナメント1回戦・準決勝・決勝 [女子ダブルス] 決勝トーナメント準決勝・決勝 [140才・120才ダブルス] 準決勝・決勝 [東西対抗試合]	MUFGパーク	試合開始30分前
	懇親会	吉祥寺エクセル ホテル東急	17:30開始

※コート割、開始時間、会場案内はP15～P21をご参照ください。

2. 役 員

委 員 長:	三菱庭球同好会 会長 隅 修 三 (東京海上日動)	
副 委 員 長:	漆 間 啓 (三菱電機)	
	徳 成 旨 亮 (ニコン)	
	眞 田 茂 春 (三菱製紙)	
同好会相談役:	畔 柳 信 雄 (三菱UFJ銀行)	
	大 宮 英 明 (三菱重工業)	
審 判 長:	牧 村 祐 一 (三菱重工業)	
副 審 判 長:	佐 々 立 之 (三菱UFJ銀行)	
H I 盃委員:	明 樂 裕 (東京海上日動)	松 岡 信 幸 (三菱電機)
	広 瀬 正 典 (三菱ケミカルグループ)	高 瀬 敏 郎 (三菱マテリアル)
	野 村 利 明 (三菱自動車工業)	奥 田 隆 裕 (三菱UFJ銀行)
	羽 島 克 利 (三菱重工業)	井 手 信 彦 (明治安田生命)
	田 村 太 郎 (三菱商事)	
HI盃地区委員:	〔関東〕塚 本 幸 司 (三菱UFJ銀行)	〔関西〕天 清 宗 山 (三菱電機)
	〔中京〕橋 本 将 和 (三菱重工業)	〔九州〕久 原 健 作 (三菱重工業)

3. 参 加 会 社 (25社)

AGC(株)	ENEOSホールディングス(株)	キリンホールディングス(株)
東京海上日動火災保険(株)	(株)ニコン	日本郵船(株)
三菱化工機(株)	三菱ガス化学(株)	三菱ケミカルグループ(株)
三菱地所(株)	三菱自動車工業(株)	三菱重工業(株)
三菱商事(株)	三菱製鋼(株)	三菱製紙(株)
三菱倉庫(株)	(株)三菱総合研究所	三菱電機(株)
三菱電線工業(株)	三菱ふそうトラック・バス(株)	三菱マテリアル(株)
(株)三菱UFJ銀行	三菱UFJ証券ホールディングス(株)	三菱UFJ信託銀行(株)
明治安田生命保険(相)	(50音順)	

4. 試 合 方 法

〔使用ボール:ダンロップフォート〕

〔コートサーフェイス:HI盃、女子シングルス…クレコート、その他種目…オムニコート〕

種 目	資 格 等	試 合 形 式
(1)HI盃 (男子シングルス トーナメント)	前回優勝者、 地区代表(関東3、関西2、中京1、九州1)	ベストオブ3タイブレーク セットマッチ
(2)女子シングルス トーナメント	前回優勝者、 地区代表(関東3、関西1、九州1)	予選 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式 決勝 ベストオブ3タイブレーク セットマッチ
(3)男子ダブルス	前回優勝者、 地区代表(関東9、関西8、中京4、九州2)	予選～決勝T準決勝 8ゲームズプロセットマッチ 決勝 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式
(4)女子ダブルス	前回優勝者、 地区代表(関東5、関西1、中京1)	予選 8ゲームズプロセットマッチ 決勝トーナメント 2タイブレークセット10ポイント マッチタイブレーク方式
(5)140才トーナメント	本年、男子満68才・女子満58才以上で 合計140才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	1タイブレークセットマッチ ※予選に限りセミアドバンテー ジ方式、ミックス同士の対戦に おいては、ディサイディングポイ ントはサーバーと同性のプレー ヤーがレシーブする。レシーバー チームはディサイディングポイン トのとき、レシーブする隊形を 変えてはいけない。
(6)120才トーナメント	本年、男子満58才・女子満48才以上で 合計120才(※女子1人につき10才減ず る)以上のペアによるブロック別リーグ 予選、決勝トーナメント	同 上
(7)東西対抗試合	東軍(関東以东)・西軍(中京以西) 男子各12組+本戦単複敗者9組、 女子各3組+本戦単複敗者3組による対抗戦	8ゲームノーアドバンテージ

5. ブロック内順位決定方法

〔女子シングルス〕

- ① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ ファイナル10ptタイブレークは得失セット数には含むが、ゲーム数には含まない。

〔男子ダブルス〕

- ① 各ブロック上位1組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数
 - ※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は8-0(不戦敗は0-8)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例:A対Bの試合で、Aから5-7の時点でBが途中棄権した場合、Aが9-7で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

〔女子ダブルス〕

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- その他の点については上記男子ダブルスの②～⑤項と同様。

〔120オダブルス〕

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- ② ブロック別リーグ戦において、勝率の高い方を上位とする。
- ③ 2組が同率になった場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ④ 3組以上が同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。
 - ・全試合での取得ゲーム率(%) = 全試合取得ゲーム数 ÷ 全試合ゲーム数
 - ※取得ゲーム率の計算の際、不戦勝の場合は6-0(不戦敗は0-6)で計算し、途中棄権の場合は、棄権した時点のスコアから、残りのゲームを勝利ペアが全て取ったと仮定して計算する。
(例:A対Bの試合で、Aから4-5の時点でBが途中棄権した場合、Aが7-5で勝利したとして計算する。)
- ⑤ 上記の結果でも、3組以上が同率となった場合は、抽選により順位を決定する。

〔140オダブルス〕

- ① 各ブロック上位2組が決勝トーナメントに進出する。
- その他の点については上記120オダブルスの②～⑤項と同様。

6. その他特記事項

140オ・120オダブルスについては、ブロック別リーグ予選開始前(10/23(木)17:00まで)に限り、以下の担当者へ連絡することによりペア編成の変更を認めます。
ただし、変更後のペアは各種目の出場資格を満たしていることが必要であり、また、選手変更による出場種目の変更は出来ません。

【担当者】

*120オトーナメント … OBOG世話人会 乙川(080-5136-9345)

*140オトーナメント … OBOG世話人会 一政(080-2144-9501)、阿部(080-5048-2434)

諸 注 意 事 項

1. コートへのアクセス、宿舎等

- (1) 各コートへの交通手段と連絡先は、P18～21をご参照ください。
- (2) 第1日・2日は専用バスを運行いたしませんので、各自お越しください。
- (3) 第3日(MUFGパーク)は専用バスを運行しますので、ご利用ください。
- (4) 会場への交通・宿舎などについては、各自にてお手配ください。
- (5) MUFGパークへの自家用車でのご来場は第2日のみ可能ですが、第3日は厳禁です。
海上コート・生命コートは駐車場を利用できます。

2. 更 衣 室

各コートとも、更衣室のロッカーはご利用ができませんのでお荷物は各自で管理してください。

3. 試 合 進 行 等

- (1) 試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレー(以下OOPとします)にてご確認ください。近隣対策上、試合前の選手呼び出し(場内アナウンス)はいたしませんのでご注意ください。
なお、個人のご都合による時間割の変更は受け付けいたしません。
- (2) 練習時間は試合進行上、HI 盃、女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守願います。
- (3) 進行次第でコートが変わる可能性がありますので、常にOOPを注視してください

4. 審 判

- (1) HI 盃、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、140才ダブルス、120才ダブルスの決勝は、ソロ・チェア・アンパイアがつきますが、その他の試合はセルフジャッジですのでご協力ください。
- (2) 試合結果は勝者がスコアカードに記入の上、ボールと一緒に大会本部まで届けてください。

5. 昼 食

- (1) 全日とも昼食の準備はありませんので、各自にてご手配ください。
尚、第2日・第3日にMUFGパークにてキッチンカーが運営予定です。

6. WO(Walk Over)

- (1) 所定の時間までに試合前受付がない場合は、原則棄権となります。
- (2) やむを得ずWOの場合は、速やかに自社の連絡員経由でご連絡ください。

7. 参 加 費

140才・120才ダブルス参加者は、関東地区5,000円、関東以外3,000円となります。
その他種目の参加者は関東地区4,000円、関東以外は1,000円となりますので、それぞれ各社で取りまとめてください。後日徴収いたします。

8. 雨 天 時 の 対 応

- (1) 最新情報は、同好会ホームページに掲載いたしますので、各自でご確認ください。
- (2) 10月26日(日)が雨天で試合中止となった場合は、懇親会のみ16:00から開催しますので、吉祥寺エクセルホテル東急にご集合ください。
- (3) 会場への電話での問い合わせは厳禁です。最新情報は同好会ホームページに掲載いたしますので、各自でご確認ください
※10/24(金)の生命・海上コートについては、P7「6. その他特記事項」の各担当者にご連絡いただいても構いません

【同好会ホームページQRコード】



大会次第 10月26日(日)

1. 開 会 式(MUFGパーク) (8:30)

(1) 挨 拶 隅大会委員長

(2) 優勝盃・優勝旗返還 隅大会委員長

(3) 諸 注 意 牧村審判長

2. 試合開始(コート時間割をご参照) (9:00)

3. 試合終了 (17:00)

4. 閉会式及び懇親会(吉祥寺エクセルホテル東急 8階アンバサダールーム) (17:30)

(1) 開 会 挨 拶 隅大会委員長

(2) 幹 事 会 社 挨 拶 漆間大会副委員長

(3) 乾 杯 眞田大会副委員長

(4) 表彰および優勝者挨拶

① HI盃優勝者

② 女子シングルス優勝者

③ 男子ダブルス優勝者

④ 女子ダブルス優勝者

⑤ 140オダブルス優勝者

⑥ 120オダブルス優勝者

⑦ 東西対抗試合勝者

(5) 閉 会 の 辞 徳成大会副委員長

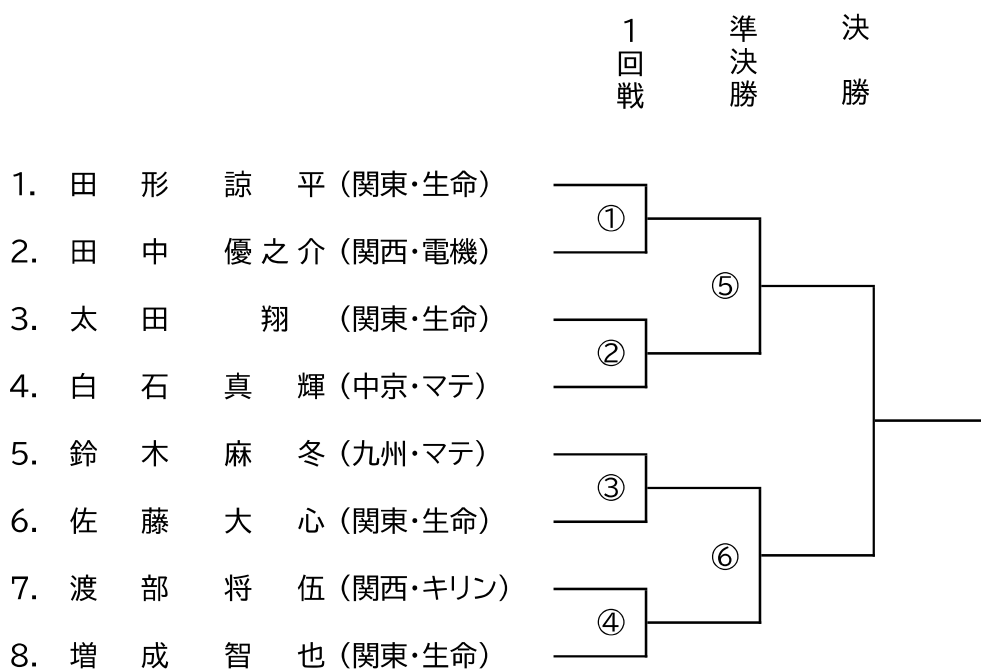
(6) 万 才 三 唱 佐々副審判長

5. 閉 会(解 散) (19:00)

6. 記 念 撮 影

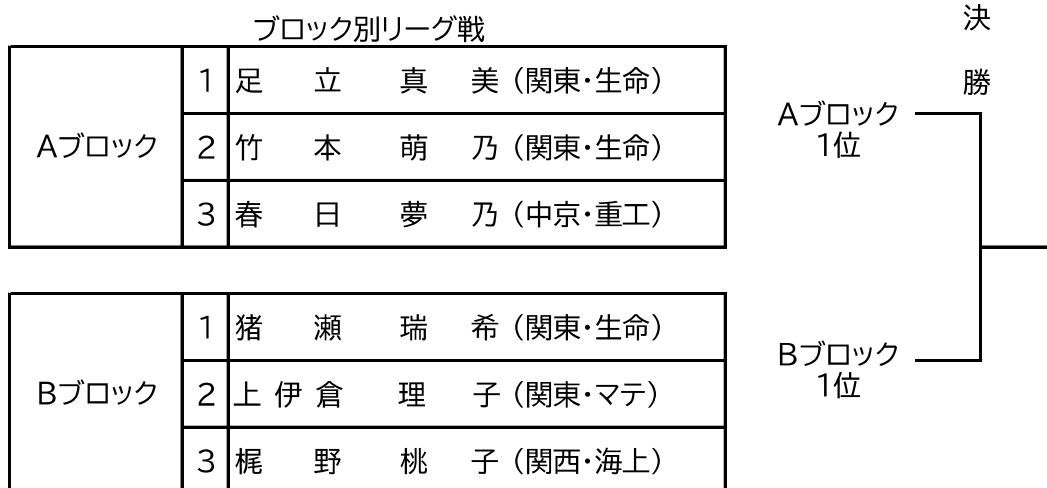
懇親会終了後、HI盃、女子シングルスの出場者、男子ダブルス、女子ダブルス、140オダブルス、120オダブルスの優勝・準優勝者、東西対抗試合主将および大会役員は記念撮影を行ないます。

HI盃選手権試合(男子シングルス)



1922年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

女子シングルス



2014年創設
岩崎美智子氏寄贈
(寛彌氏ご令室)

男子ダブルス

ブロック別リーグ戦

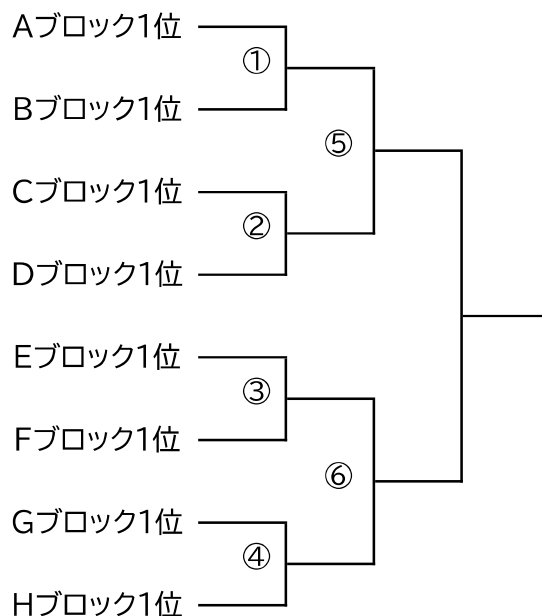
Aブロック	1	太田・中村（関西・電機）
	2	水野・大石（中京・電機）
	3	藤岡・菅谷（関東・海上）
Bブロック	1	古田・寒作（関東・銀行）
	2	寺田・安部（関西・海上）
	3	瀧原・池田（中京・自動車、電機）
Cブロック	1	上本・井上（関東・海上）
	2	泉水・泉水（関西・ケミカル、自動車）
	3	濱田・田島（九州・重工）
Dブロック	1	香山・岡田（関西・電機）
	2	上瀧・古田（中京・電機、マテ）
	3	嶋田・家邊（関東・電機）
Eブロック	1	橋本・廣田（関東・銀行）
	2	江口・北井（九州・電機、重工）
	3	大谷・豊田（関西・ケミカル）
Fブロック	1	干場・高山（関東・生命）
	2	巽・新井（関東・マテ）
	3	荒木・小清水（関西・電機）
Gブロック	1	矢島・副田（関東・生命）
	2	遠山・片岡（中京・自動車）
	3	豊野・深作（関西・電機）
Hブロック	1	井手・外山（関西・電機）
	2	安上・星木（関東・海上）
	3	光嶋・串間（関西・重工）



決勝トーナメント

2006年創設
三菱庭球同好会

1 準 決
回 決 勝
戦 勝 勝



女子ダブルス

ブロック別リーグ戦

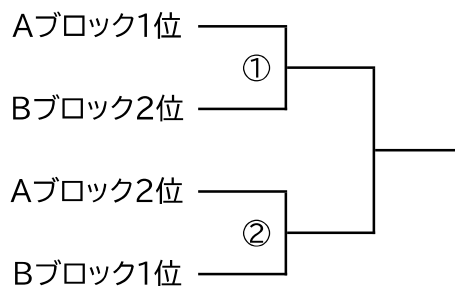
Aブロック	1	清水・中村（関東・生命）
	2	下地・市川（関東・海上）
	3	中尾・高山（関東・郵船）
	4	藤原・杖村（関東・生命、AGC）
Bブロック	1	藤田・細江（中京・生命）
	2	波多野・黒木（関東・海上）
	3	中村・左藤（関東・生命）
	4	野崎・中村（関西・電機）



決勝トーナメント

1972年創設
岩崎操子氏寄贈
（彦彌太氏令室）

準 決
決 勝
勝 勝



140オダブルス



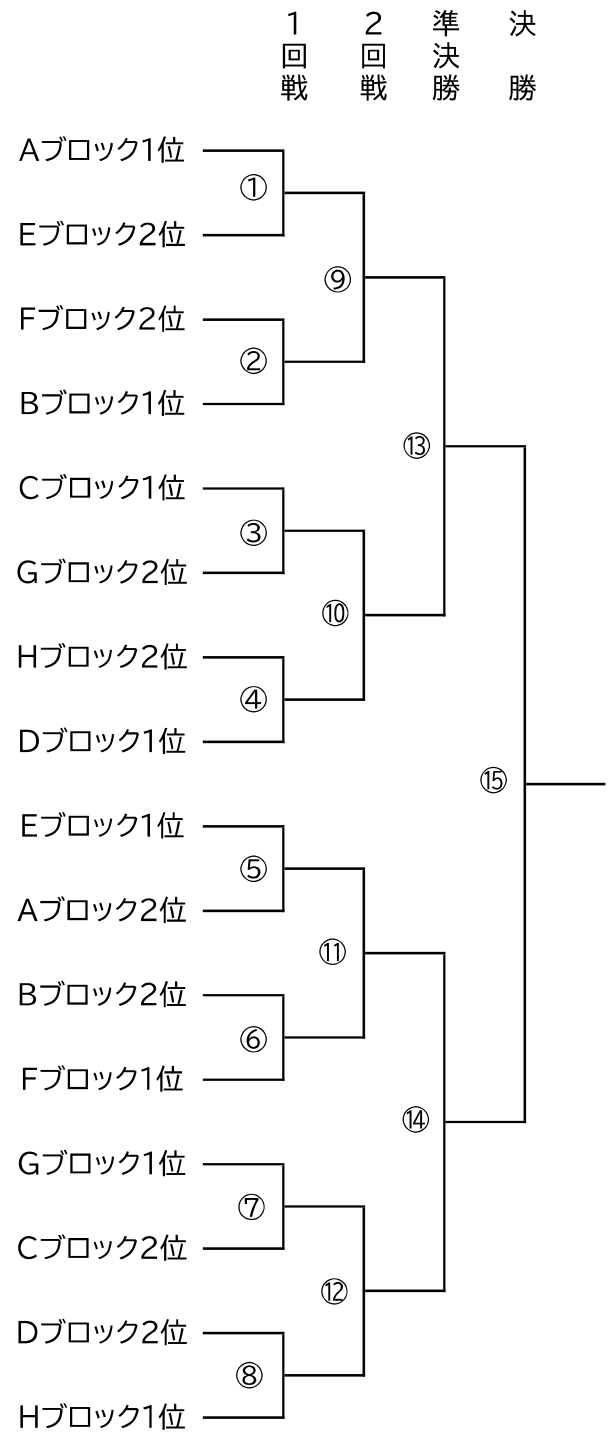
1983年創設
岩崎寛彌氏寄贈
(彦彌太氏令息)

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	田 畑 ・ 佐々木 (重 工)
	2	永 桶 ・ 野 田 (商 事)
	3	山 本 ・ 笠 原 (銀 行)
	4	海 老 名 ・ 阿 部 (海 上)
Bブロック	1	武 田 ・ 保坂(*) (商 事)
	2	大 塩 ・ 中島(*) (銀 行)
	3	桑 田 ・ 村 松 (信 託)
	4	泉 本 ・ 種 田 (E N E O S)
Cブロック	1	勇 内 ・ 志 賀 (電 機)
	2	小 林 ・ 徳 田 (商 事)
	3	横 尾 ・ 茂 木 (銀 行)
	4	江 口 ・ 矢 野 (ケ ミ カ ル)
Dブロック	1	東 城 ・ 多 屋 (海 上)
	2	越 村 ・ 杉 本 (マ テ リ ア ル)
	3	一 政 ・ 沓 掛 (重 工、ふそう)
	4	花 生 ・ 宮 村 (商 事)
Eブロック	1	加 藤 ・ 浅 葉 (電 機)
	2	木 村 ・ 渡 邊 (商 事)
	3	米 田 ・ 久 保 (マ テ リ ア ル)
	4	- -
Fブロック	1	小 宮 ・ 安 川 (商 事)
	2	二 木 ・ 田 中 (自 動 車)
	3	松 永 ・ 吉 田 (ふ そ う)
	4	君 塚 ・ 佐 藤 (海 上)
Gブロック	1	有 馬 ・ 田 村 (商 事)
	2	田 中 ・ 西 海 (マ テ リ ア ル) 欠場
	3	太 田 ・ 天 目 (信 託)
	4	牧 村 ・ 伊 藤 (重 工)
Hブロック	1	岩 渕 ・ 下 村 (マ テ リ ア ル)
	2	鈴 木 ・ 西 岡 (生 命、海 上)
	3	盛 ・ 今 西 (商 事)
	4	- -

※ (*)は女子

決勝トーナメント



120オダブルス



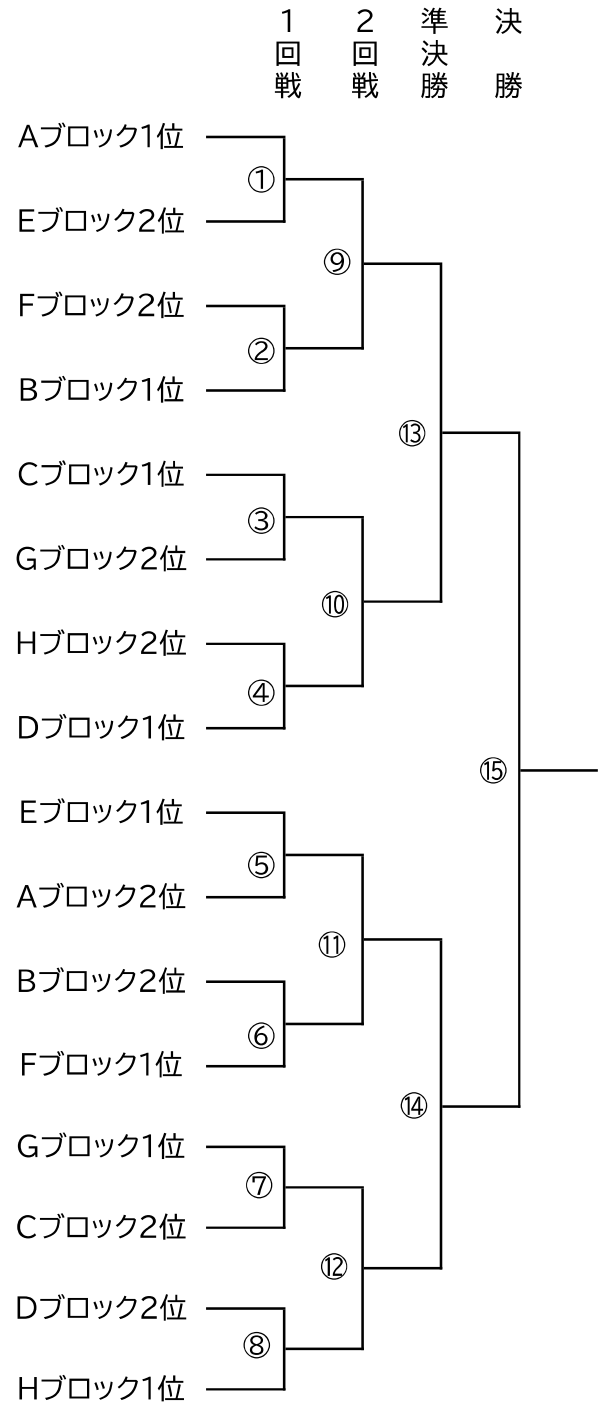
1952年創設
岩崎彦彌太氏寄贈

決勝トーナメント

ブロック別リーグ戦

Aブロック	1	山 室 ・ 岡 田 (海 上)
	2	内 藤 ・ 三 島 (ガ ス 化 学)
	3	稲 森 ・ 今 井 (自 動 車)
	4	-
Bブロック	1	黒 井 ・ 小 島 (商 事)
	2	松 本 ・ 西 澤 (信 託)
	3	石 川 ・ 伊 藤 (E N E O S)
	4	佐 々 ・ 鈴 木 (銀 行)
Cブロック	1	乙 川 ・ 山 田 (マ テ リ ア ル)
	2	梅 津 ・ 沼 (銀 行)
	3	山 崎 ・ 多 々 納 (商 事)
	4	-
Dブロック	1	小 川 ・ 内 田 (重 工)
	2	関 ・ 田 中 (商 事)
	3	宮 下 ・ 遠 藤 (電 機)
	4	-
Eブロック	1	中 山 ・ 岡 田 (電 機)
	2	飯 泉 ・ 羽 田 (重 工)
	3	金 子 ・ 西 田 (商 事)
	4	-
Fブロック	1	山 本 ・ 鳥 居 (マ テ リ ア ル)
	2	箸 本 ・ 山 岸 (商 事)
	3	長 谷 川 ・ 広 瀬 (ケ ミ カ ル)
	4	-
Gブロック	1	松 山 ・ 松 山 (*) (銀 行)
	2	三 原 ・ 三 宅 (電 線)
	3	高 橋 ・ 左 藤 (生 命)
	4	-
Hブロック	1	唐 澤 (*) ・ 柳 原 (*) (商 事)
	2	竹 下 ・ 堤 (ケ ミ カ ル 、 海 上)
	3	酒 井 ・ 神 保 (信 託)
	4	-

※(*)は女子



東 軍	西 軍
-----	-----

<男子ダブルス>

■本エントリー

Aブロック		1	2
		仁 木 ・ 丹 下 (電 機)	岡 本 ・ 大 手 (重 工)
1	伊 藤 ・ 野 田 (生 命)	A①	A③
2	柏 木 ・ 山 田 (生 命)	A④	A②

Bブロック		3	4
		高 橋 ・ 佐 藤 (銀 行)	五 嶋 ・ 橋 本 (重 工)
3	徳 本 ・ 田 村 (生 命)	B①	B③
4	政 岡 ・ 竹 内 (ニ コ ン)	B④	B②

Cブロック		5	6
		岩 渕 ・ 小 坂 (商 事)	松 尾 ・ 松 本 (自 動 車)
5	佐 藤 ・ 高 橋 (銀 行)	C①	C③
6	松 本 ・ 植 村 (地 所)	C④	C②

Dブロック		7	8
		福岡 ・ 市 川 (ガ ス 化)	佐 藤 ・ 平 野 (化 工 機)
7	藤 本 ・ 峯 木 (自 動 車)	D①	D③
8	田 村 ・ 吉 川 (ふ そ う)	D④	D②

Eブロック		9	10
		白 木 ・ 高 山 (電 機)	田 中 ・ 天 清 (電 機)
9	野 村 ・ 大 林 (自 動 車)	E①	E③
10	上 田 ・ 佐 々 木 (ENEOS)	E④	E②

Fブロック		11	12
		中 根 ・ 佐 野 (マ テ)	西 脇 ・ 中 塚 (マ テ)
11	長 沼 ・ 釘 宮 (海 上)	F①	F③
12	渡 邊 ・ 佐 藤 (製 鋼)	F④	F②

■男子ダブルスからのエントリー

A2位		①		B2位
A3位		②		B3位
C2位		③		D2位
C3位		④		D3位
E2位		⑤		F2位
E3位		⑥		F3位
G2位		⑦		H2位
G3位		⑧		H3位

■HI盃からのエントリー(旧特別試合)

S		⑨		S
---	--	---	--	---

<女子ダブルス>

■本エントリー

		1	2	3
		梶 原 ・ 後 藤 (自 動 車 、 銀 行)	鈴 木 ・ 金 岡 (地 所)	守 屋 ・ 小 林 (重 工)
1	松 下 ・ 加 藤 (生 命)	①	④	-
2	前 田 ・ 國 嶋 (ニ コ ン)	-	②	⑤
3	山 口 ・ 厚 見 (倉 庫)	⑥	-	③

■女子ダブルスからのエントリー

A3位		⑦		B3位
A4位		⑧		B4位

■女子シングルスからのエントリー

S		⑨		S
---	--	---	--	---



1952年創設
三菱庭球同好会

第1日(10月24日)コート時間割

生 命 コ ー ト							
集合	試合開始	4	5	6	7	8	9
9:45	10:00	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・2	A3・4	B1・2	B3・4	C1・2	C3・4
10:25	10:45	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・2	D3・4	E1・2	F1・2	F3・4	H1・2
11:05	11:25	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・3	A2・4	B1・3	B2・4	G1・2	G3・4
	12:05	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・3	D2・4	E1・3	H2・3	C1・3	C2・4
	12:45	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・4	A2・3	F1・3	F2・4	G1・3	G2・4
	13:25	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		D1・4	D2・3	B1・4	B2・3	C1・4	C2・3
	14:05	140オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		E2・3	H1・3	F1・4	F2・3	G1・4	G2・3

海 上 コ ー ト							
集合	試合開始	1	2	3	4	5	6
9:45	10:00	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・2	B1・2	B3・4	C1・2	D1・2	E1・2
10:25	10:45	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		F1・2	G1・2	H1・2	C2・3	D2・3	E2・3
11:05	11:25	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A2・3	B1・3	B2・4	F2・3	G2・3	H2・3
	12:05	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		A1・3	B1・4	B2・3	C1・3	D1・3	E1・3
	12:45	120オブブロックリーグ(A,B,C,D,E,F,G,H)					
		F1・3	G1・3	H1・3			

第2日(10月25日)コート時間割

M U F G パ ー ク											
コートNo. 時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8:30											
9:00	女子シングルス (ブロックリーグ)			140才(1回戦)							
10:00	B1-B2	A1-A2		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
				120才(1回戦)							
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
11:00	HI盃(1回戦)			⑨	⑩	⑪	⑫	⑨	⑩	⑪	⑫
	②	①									
12:00	女子シングルス (ブロックリーグ)			A1-A2	B1-B2	C1-C2	D1-D2	A1-A2	A3-A4	B1-B2	B3-B4
13:00	B1-B3	A1-A3		E1-E2	F1-F2	G1-G2	H1-H2	A1-A3	A2-A4	B1-B3	B2-B4
14:00	HI盃(1回戦)			A1-A3	B1-B3	C1-C3	D1-D3	A1-A4	A2-A3	B1-B4	B2-B3
	④	③		※以降の試合は進行次第でコートが変更となる可能性がありますので、選手はOOP注視願います。							
15:00	女子シングルス (ブロックリーグ)			E1-E3	F1-F3	G1-G3	H1-H3	A2-A3	B2-B3	C2-C3	D2-D3
16:00	B2-B3	A2-A3		E2-E3	F2-F3	G2-G3	H2-H3				
17:00	フリーコート : 希望者は、当日会場でサインアップ願います。										

※14:30以降の試合は進行次第でコートが変更となる可能性がありますので、選手はOOP注視願います。

※○囲いの中の数値は各種目ドロー内の数字に対応しています。

例)男子D(1回戦)①・・・男子ダブルスドローAブロック1位とBブロック1位の対戦

東西対抗 男子 A①・・・東西対抗 男子 本エントリーAブロックの①の対戦

東西対抗 男子 ①・・・東西対抗 男子の「本大会からのエントリー」①の対戦

第3日(10月26日)コート時間割

M U F G パ ー ク											
コートNo. 時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
8:30	開会式(必ずご参加ください)										
9:00	HI盃			女子ダブルス		男子D (1回戦)				東西対抗 女子	
	(準決勝)			(準決勝)		① ②		③ ④		① ②	
10:00	⑥	⑤		①	②	140才D (準決勝)		120才D (準決勝)		東西対抗 女子	
						⑬ ⑭		⑬ ⑭		③ ⑦	
11:00				男子D (準決勝)		東西対抗 男子					
				⑤	⑥	A①	A②	B①	B②	①	②
12:00				140オ ダブルス (決勝)	120オ ダブルス (決勝)	東西対抗 男子					東西対抗 女子
						C①	C②	D①	D②	③	④
13:00	HI盃	女子 シングルス				東西対抗 男子				東西対抗 女子	
	(決勝)	(決勝)		女子 ダブルス	男子 ダブルス	E①	E②	F①	F②	⑤	⑥
14:00				(決勝)	(決勝)	東西対抗 男子				東西対抗 女子	
					④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
15:00			東西対抗 男子								
			A③	A④	B③	B④	C③	C④	⑧	⑨	
16:00			東西対抗 男子								
			D③	D④	E③	E④	F③	F④			
17:00	○注意事項 1. 出場選手は必ず開会式にご参加ください。ただし、東西対抗出場選手等で当日移動の方は除きます。 2. 練習時間は試合進行上、HI盃および女子シングルスは5分以内、その他は3分以内といたしますので厳守ください。 3. 進行は本部横に掲示いたしますので、各自前広にご確認ください。 4. 大会役員の方は、11:30よりクラブハウス2階にて昼食会を行います。 HI盃および女子シングルス出場選手は選手紹介を行いますのでご参集ください。 5. 懇親試合をご希望の方は大会本部までお申し出ください。										
17:30											
18:00	懇 親 会										
	(於 吉祥寺エクセルホテル東急)										
19:00											

※15:00以降の試合は進行次第でコートが変更となる可能性がありますので、選手はOOP注視願います。

※○囲いの中の数値は各種目ドロー内の数字に対応しています。

例)男子D(1回戦)①…男子ダブルスドローAブロック1位とBブロック1位の対戦

東西対抗 男子 A①…東西対抗 男子 本エントリーAブロックの①の対戦

東西対抗 男子 ①…東西対抗 男子の「本大会からのエントリー」①の対戦

大会会場案内図(1) 《MUFG パーク》

東京都西東京市柳沢4-4-40

雨天時開催可否の会場への問合せは厳禁です。

●10/25(土) 会場へのアクセス

<バス>

三鷹駅北口から関東バスをご利用ください。

3番バスのりばから「鷹 30, 33, 34」に乗車、
「武蔵野大学」で下車してください(約 20~25 分)。

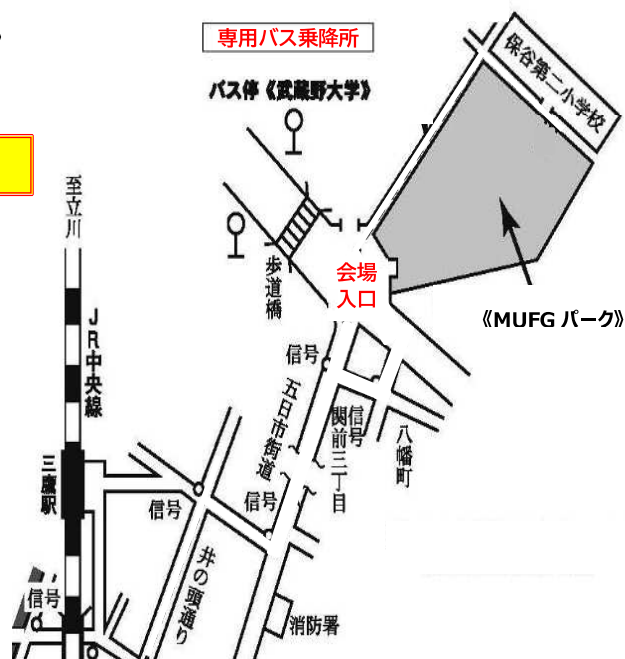
<自家用車>

東ゲートより入場し、有料駐車場に駐車願います。
(10/25(土)のみ選手・応援関係者も利用可能です。)

●10/26(日) 会場へのアクセス

下表のとおり専用バス(各便とも大型1台)を運行
しますので、ご利用ください。<自家用車不可>

発 車		到 着	
7:40	三 鷹 駅	7:50	MUFGパーク
7:50	三 鷹 駅	8:00	MUFGパーク
8:00	三 鷹 駅	8:10	MUFGパーク
8:10	三 鷹 駅	8:20	MUFGパーク
15:50	MUFGパーク	16:15	吉祥寺エクセルホテル東急
16:00	MUFGパーク	16:25	吉祥寺エクセルホテル東急
16:40	MUFGパーク	17:05	吉祥寺エクセルホテル東急
16:50	MUFGパーク	17:15	吉祥寺エクセルホテル東急



※試合進行の都合により、シャトルバスに間に合わない選手は個別に対応しますので大会本部へご相談ください。

【MUFG パーク 駐車場アクセス方法詳細】

- ・駐車場の使用は、各社役員、
来賓、大会役員の車に限定
させていただきます。
- ・運転手の方は、駐車券を本部
へお持ちください。
(幹事にて精算処理を行います)
- ・パークからの帰路は、駐車場
出口からの道路が一方通行の
ため、**右折しかできません**ので
ご注意ください。
- ・当局からの強い指導により
周辺道路への違法駐車等は
厳に慎んでください。



●選手の皆さんへお願い

- MUFG パークでの大会時の配置は以下のとおりです。
 - メイン(南)ゲート・東ゲート(駐車場用。10/25(土)のみ選手・応援関係者も利用可)からご入場ください。西・北ゲートは終日閉鎖されておりますのでご注意ください。
 - 10/25(土)はテニスコート・クラブハウス以外の施設を一般の方が利用します。
一般の方の活動に支障をきたさないように、ご配慮とご協力をお願いします。
同日は待機エリアを利用できません。また、更衣室・シャワー、トイレ等は原則クラブハウスの設備をご利用ください。
 - 10/26(日)はパーク全体を貸し切りとしております。
 - 試合進行はコート時間割に従って行ないますが、変更する場合がありますのであらかじめオーダーオブプレーにてご確認ください。
- 近隣対策上、試合前の選手呼び出し(場内アナウンス)はいたしませんのでご注意ください。
- 会場内、キッチンカーが複数予定されておりますので、ご利用ください。



大会会場案内図(2)

≪明治安田グリーンランドテニスコート≫

＜八王子駅から車で明治安田グリーンランドまでの行き方＞
所要時間：約20分



＜戸吹停留所から徒歩で明治安田グリーンランドまでの行き方＞
所要時間：約8分



- ◆名称:明治安田グリーンランド
- ◆住所:東京都八王子市戸吹町150
- ◆施設:テニスコート、クラブハウス(男女各シャワー室、更衣室)
- ◆交通
 - ①車 ※駐車場あり
八王子駅から約20分

- ②バス
京王八王子駅4番乗り場、またはJR八王子駅北口12番乗り場から西東京バス
・【ひ01】系統 戸吹行き、又は【ひ07】系統 秋川駅行き、
又は【ひ08】系統 戸吹スポーツ公園入口行き乗車(約30分)、
戸吹停留所下車徒歩8分

- JR五日市線秋川駅2番乗り場から西東京バス
・【ひ07】系統 京王八王子駅行き(約25分)戸吹停留所下車徒歩8分
・秋川駅ではタクシーの呼び出しができませんのでご注意ください

京王八王子駅バス時刻表 (JR八王子駅北口は2分後の出発)

【平日】

8時	23	43ア
9時	03	23 43ア
10時	05ト	25

無印:戸吹スポーツ公園入口行き

ア :秋川駅行き

ト :戸吹行き

JR秋川駅バス時刻表

【平日】

8時	46
9時	46

雨天時開催可否の会場への問合せは**厳禁**です。
開催可否は下記ホームページ、またはP.7の6項(その他特記事項)にある
会場担当者に確認願います。

【同好会ホームページQRコード】



大会会場案内図(3)

《東京海上日動多摩総合グランド》

八王子市別所2-57

- ① 京王相模原線
「京王堀之内」駅よりバス
「見附橋循環」のりば④番)
にて「見附ヶ丘」下車

京王堀之内駅バス時刻表

【平日】

8時	20	50
9時	20	50
10時	20	50

見附橋循環行き

- ② 京王相模原線
「京王堀之内」駅
または小田急多摩線
「唐木田」駅より
タクシー利用

マイカーでご来場できます



雨天時開催可否の会場への問合せは**厳禁**です。
開催可否は下記ホームページ、または P.7 の 6 項
(その他特記事項)にある会場担当者に確認願います。

【同好会ホームページ QR コード】



懇親会 会場案内図

吉祥寺エクセルホテル東急
8F 宴会場「アンバサダールーム」

- ・懇親会のドレスコードはカジュアルです。
- ・地下駐車場は、大会役員、来賓のみ利用できます。
- ・1F玄関前は混雑しますので、懇親会閉会後は速やかに移動願います。



2024年度 第73回 優勝者

< >内はプレゼンター



HI盃 田形諒平選手(生命)
<岩崎俊吉様>



女子シングルス 足立真美選手(生命)
<岩崎早穂様>



男子ダブルス 中村・太田ペア(電機)
<畔柳相談役>



女子ダブルス 清水・中村ペア(生命)
<長澤会長(郵船)>



140 オトーナメント 東城・加藤ペア(海上、電機)
<加藤社長(自動車)>



120 オトーナメント 吉田・峰ペア(重工)
<松永会長(ふそう)>
※写真は岩崎ご夫妻・大宮相談役



東西対抗 東軍
<永島社長(生命)>

HI 盃選手権試合・全三菱庭球大会戦績表

I. 復活前

回数	年 度	開催地	委員長	HI盃	関東関西戦	
					回数	勝者
	1916 大正5	神 戸			1	雨天の為中止
	1917 大正6	東 京			2	記録なし
	1918 大正7	神 戸			3	米騒動の為中止
	1919 大正8	名古屋			4	記録なし
	1920 大正9	名古屋			5	記録なし
	1921 大正10	東 京			6	関東
	1922 大正11	名古屋		10月カップ創設 軟式から硬式へ	7	記録なし
1	1923 大正12	東 京	河手捨二 (商事取締役)	岩永侃爾(門司・鉱業)	8	関西 7-5
2	1924 大正13	神 戸	山口泉吉 (重工神戸造船所長)	青木岩雄(東京・銀行)	9	関東 9-6
3	1925 大正14	名古屋	松本辰三郎 (内燃名古屋製作所長)	扇山正男(名古屋・内燃)	10	関東 9-4
4	1926 大正15	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	岩永侃爾(東京・鉱業)	11	関東 12-3
5	1927 昭和2	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	青木岩雄(東京・銀行)	12	関東 10-5
6	1928 昭和3	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	神田道朝(関西・保険)	13	関東 8-7
7	1929 昭和4	神 戸	山室宗文 (銀行常務取締役)	青木岩雄(関東・銀行)	14	関西 10-5
8	1930 昭和5	東 京	荘田達弥 (造船研究所長)	牧野 元(関東・航空)	15	関東 8-6, 1分
9	1931 昭和6	神 戸	徳大寺則麿 (重工神戸造船所長)	牧野 元(関東・航空)	16	関西 12-2, 1分
10	1932 昭和7	東 京	三好重道 (製鉄取締役)	志村彦七(中京・航空)	17	関西 8-7
11	1933 昭和8	神 戸	田中金之助 (倉庫取締役)	後藤 長(中京・航空)	18	関西 12-3
12	1934 昭和9	名古屋	本間亀吉 (電機名古屋製作所長)	後藤 長(中京・重工)	19	関東 11-4
13	1935 昭和10	東 京	佐藤梅太郎 (合資参与総務課長)	後藤 長(中京・重工) 決勝は5→3セットマッチへ	20	関東 10-5
14	1936 昭和11	神 戸	玉井喬介 (重工社長)	石井小一郎(関東・地所)	21	関西 8-6, 1分
15	1937 昭和12			中止	22	
16	1938 昭和13	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	志村彦七(中京・重工)	23	関西 8-7
17	1939 昭和14	名古屋	後藤直太 (重工取締役)	志村彦七(中京・重工)	24	雨天中止
18	1940 昭和15	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	中野文照(関東・鋼材) <ダブルス>熊谷一彌・関沢房豊	25	関西 9-6
19	1941 昭和16			中止	26	中止
20	1942 昭和17	東 京	間 四郎 (電機常務取締役)	林 新緑(関西・電機) <ダブルス>田村亮・扇山忠男	27	記録なし

Ⅱ. 復活後

回数	年 度	開催地	委員長	HI盃		120オ ーナメント	女子 ダブルス	東西対抗試合
1	1952 昭和27	東 京	石黒俊夫 (本社精算人)	藤倉五郎 (金商)	100才→	岩崎彦彌太・ 山岸成一		関東 10-3, 3分
2	1953 昭和28	神 戸	藤井深造 (新重工社長)	藤倉五郎 (金商)		住友・池上 (電機)		関東 13-6
3	1954 昭和29	名古屋	高杉普一 (電機社長)	藤倉五郎 (金商)		富田・河尻 (金属・金商)		関東 19-5
4	1955 昭和30	東 京	石黒俊夫 (地所社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・神田 (商事・海上)		関西 18-12
5	1956 昭和31	大 阪	古村誠一 (金属鉱業社長)	藤倉五郎 (金商)		西 ・服部 (商事・新重工)		関西 19-13, 1分
6	1957 昭和32	東 京	高垣勝次郎 (商事社長)	藤倉五郎 (金商)		藤島・森野 (銀行・海上)		関東 21-17
7	1958 昭和33	大 阪	伊藤保次郎 (鉱業社長)	寺岡健吾 (化成)	105才→	石井・高萩 (地所・鉱業)		関西 23-14
8	1959 昭和34	東 京	佐藤 尚 (造船社長)	石黒 修 (電機)		雨天中止		雨天中止
9	1960 昭和35	東 京	桜井俊記 (重工社長)	石黒 修 (電機)		鈴木・山岸 (金属・商事)		関西 21-17
10	1961 昭和36	東 京	柴田周吉 (化成社長)	石黒 修 (電機)		石井・武井 (地所)		関東 24-21
11	1962 昭和37	大 阪	浜川友十郎 (倉庫社長)	石黒 修 (電機)		樋口・古矢 (銀行)		関東 23-22
12	1963 昭和38	東 京	宇佐美 洵 (銀行頭取)	石黒 修 (電機)	110才→	中山・山岸 (金属・商事)		関東 26-19
13	1964 昭和39	東 京	藤岡信吾 (石油社長)	石黒 修 (電機)		大淵・塚田 (地所)		関東 29-18
14	1965 昭和40	東 京	千頭暎臣 (信託社長)	藤井道雄 (電機)		山岸・柴田 (商事・化成)		関東 27-23
15	1966 昭和41	大 阪	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		樋口・一法師 (銀行・商事)		関東 36-17
16	1967 昭和42	東 京	河野文彦 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		浅田・塚田 (銀行)		関東 41-18
17	1968 昭和43	東 京	野村義門 (重工顧問)	山岸 孝 (明生)		大藤・山岸(二) (以外・商事)		関東 36-22
18	1969 昭和44	東 京	有古義彌 (郵船社長)	藤井道雄 (電機)		岩倉・山岸(二) (郵船・商事)		関東 39-28
19	1970 昭和45	東 京	牧田与一郎 (重工社長)	山岸 孝 (明生)		堤 ・塚田 (銀行)		関東 33-24, 13
20	1971 昭和46	東 京	田実 涉 (銀行会長)	大日方昭太 (海上)		岡本・三好 (金属)		関東 42-28
21	1972 昭和47	東 京	藤野忠次郎 (商事社長)	藤井道雄 (電機)		河尻・藤倉 (金商)	島野・青井 (海上・重工)	関東 43-31
22	1973 昭和48	東 京	中田乙一 (地所社長)	山岸 孝 (明生)		雨天中止	原・市井 (海上)	雨天中止
23	1974 昭和49	東 京	古賀繁一 (重工会長)	宮川善文 (大日)		雨天中止	小畠・塚本 (電機)	雨天中止
24	1975 昭和50	東 京	古賀繁一 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)		田中・寛 (重工)	島野・塚本 (海上・電機)	関東 41-35, 1分
25	1976 昭和51	東 京	古賀繁一 (重工会長)	有沢三治 (油化)		雨天中止	島野・塚本 (海上・電機)	雨天中止
26	1977 昭和52	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		北岡・高橋 (電機)	針谷・中井 (重工)	関東 54-28
27	1978 昭和53	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)	115才→	関口・西尾 (重工)	三枝・堀毛 (電機)	関東 44-37, 1分
28	1979 昭和54	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	藤井道雄 (電機)		御供・林田 (重工・製鋼)	西浦・三枝 (電機)	関東 49-33
29	1980 昭和55	東 京	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		吉岡・佐久間 (々々・重工)	作山・植村 (化成)	関東 41-20, 21分

回数	年 度	委員長	HI盃	130才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	東西 対抗戦
30	1981 昭和56	古賀繁一 (重工相談役)	小柳健一 (商事)		櫛原・古賀 (化成・樹脂)	作山・植村 (化成)	関東 49-33
31	1982 昭和57	田部文一郎 (商事会長)	武田 彰 (商事)	130才↓	中野・高橋 (電機)	島野・今井 (海上・重工)	関東 40-37, 5分
32	1983 昭和58	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	安川・吉岡 (キャタ)	北岡・中野 (電機)	島野・今井 (海上・重工)	関東 33-27, 22分
33	1984 昭和59	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	末延・関口 (重工)	妹尾・青木 (銀行)	島野・今井 (海上・重工)	関東 47-34, 1分
34	1985 昭和60	田部文一郎 (商事会長)	辻本 豊 (レイヨン)	小西・富取 (銀行)	原田・佐久間 (商事・重工)	島野・今井 (海上・重工)	関東 48-34
35	1986 昭和61	田部文一郎 (商事会長)	沢 英樹 (化成)	関口・高田 (重工)	御供・青木 (重工・銀行)	島野・今井 (海上・重工)	関西 46-38
36	1987 昭和62	鈴木永二 (化成会長)	沢 英樹 (化成)	原田・川崎 (商事・石油)	高橋・鈴木 (電機)	島野・今井 (海上・重工)	関東 46-37
37	1988 昭和63	鈴木永二 (化成会長)	昭和天皇御病気の為中止				
38	1989 平成元	鈴木永二 (化成会長)	岩原慎二 (化成)	川崎・笥 (石油・自工)	貴志・庄野 (化成)	芥川・善積 (化成)	関東 45-39
39	1990 平成2	鈴木永二 (化成会長)	辻本 豊 (レイヨン)	原田・上田 (商事)	豊福・金子 (化成・郵船)	芥川・善積 (化成)	関東 50-31, 3分
40	1991 平成3	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	古賀・櫛原 (化成)	瀬口・須藤 (化成・重工)	佐野・溝口 (化成・海上)	関東 28-21, 35分
41	1992 平成4	飯田庸太郎 (重工会長)	藤井 淳 (商事)	坂尾・伊丹 (キリン)	瀬口・福井 (化成)	佐野・溝口 (化成・海上)	関東 49-29, 6分
42	1993 平成5	飯田庸太郎 (重工会長)	辻本 豊 (レイヨン)	山田・宮本 (アルミ)	青木・荒木 (銀行)	善積・溝口 (化成・海上)	関東 52-32
43	1994 平成6	飯田庸太郎 (重工会長)	田村太郎 (商事)	川崎・上田 (石油・商事)	山口・高見 (レイヨン)	前田・早川 (化学)	関東 38-28, 18分
44	1995 平成7	飯田庸太郎 (重工相談役)	杉本長太郎 (化学)	雨天中止	雨天中止	金子・坂田 (明生)	雨天中止
45	1996 平成8	飯田庸太郎 (重工相談役)	渡辺 啓 (化学)	伊丹・好士 (キリン)	山守・田中 (化学)	金子・坂田 (明生)	関東 47-37
46	1997 平成9	藤村正哉 (マテリアル会長)	長谷川 寛 (電機)	雨天中止	雨天中止 120才	渡辺・工藤 (明生)	雨天中止
47	1998 平成10	藤村正哉 (マテリアル会長)	古村賢紀 (電機)	川崎・櫛原 (石油・化学)	小杉・大日方 (銀行)	渡辺・杉山 (明生)	関東 52-32
48	1999 平成11	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	花岡・沼田 (電機)	浦中・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)	関東 49-34, 1分
49	2000 平成12	藤村正哉 (マテリアル会長)	塚原 識 (銀行)	平岡・土肥 (重工・電機)	初澤・池田 (電機)	瀧澤・小柳 (化学)	関西 42-41, 1分
50	2001 平成13	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	沼田・榊井 (電機)	岡崎・石山 (石油)	瀧澤・小柳 (化学)	関東 47-27
51	2002 平成14	藤村正哉 (マテリアル相談役)	塚原 識 (銀行)	宮田・須藤 (重工)	瀧口・梅沢 (化学)	瀧澤・小柳 (化学)	関西 41-31
52	2003 平成15	藤村正哉 (マテリアル相談役)	古村賢紀 (電機)	宮田・竹部 (重工・キリン)	神田・小杉 (銀行)	瀧澤・小柳 (化学)	関西 26-20
53	2004 平成16	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	雨天中止	雨天中止	今城・吉井 (海上)	雨天中止
54	2005 平成17	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (電機)	池田・片寄 (電機)	毎野・西 (商事)	安井・星 (生命)	関東 28-23

回数	年 度	委員長	HI盃	130才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦
55	2006 平成18	岸 暁 (銀行相談役)	古村賢紀 (商事)	佐伯・津田 (SCM・重工)	出口・近藤 (重工)	市川・原 (海上)	江頭・塩谷 (生命)	関東 16-9
56	2007 平成19	岸 暁 (銀行相談役)	前田信二 (銀行)	瀧口・高見 (化学・レイソ)	藤井・吉田 (電機)	深田・清水 (銀行)	武井・若月 (銀行)	関西 19-6
57	2008 平成20	岸 暁 (銀行相談役)	中原健一郎 (商事)	若菜・茅本 (重工・化学)	鈴木・君塚 (海上)	安井・伊藤 (生命)	黒崎・鳥山 (商事)	関西 14-11
58	2009 平成21	井手明彦 (マテリアル社長)	藤田瑞飛 (生命)	出口・淀川 (重工)	瀧口・矢野 (化学)	古賀・加藤 (生命)	細江・佐藤 (生命・海上)	関東 13-12

回数	年 度	委員長	HI盃	女子 シングルス	140才 トーナメント	120才 トーナメント	女子 ダブルス	男子 ダブルス	東西 対抗戦
59	2010 平成22	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		近藤・淀川 (重工)	小野・赤沼 (硝子)	伊藤・五十嵐 (生命)	渡辺・瀬野 (電機)	関西 13-12
60	2011 平成23	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		高橋・金子 (硝子)	後藤・古屋 (電機)	古賀・松重 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関東 16-9
61	2012 平成24	井手明彦 (マテリアル会長)	藤田瑞飛 (生命)		東・淀川 (重工)	伊藤・矢野 (化学)	五十嵐・鍋谷 (生命)	星村・狩谷 (生命)	関西 13-12
62	2013 平成25	井手明彦 (マテリアル会長)	福田健司 (電機)	140才→	東・田中 (重工)	赤沼・本間 (硝子)	五十嵐・鍋谷 (生命)	廣田・横山 (電機)	関西 11-8
63	2014 平成26	井手明彦 (マテリアル会長)	田川翔太 (海上)	鍋谷昌栄 (生命)	田中・永田 (重工)	近藤・矢野 (化学)	奥間・関 (銀行)	神谷・星野 (キリン)	関西 11-8
64	2015 平成27	井手明彦 (マテリアル相談役)	古田陸人 (マテリアル)	木川里奈 (生命)	織田・藤井 (商事・電機)	堀田・多屋 (海上)	松田・泉水 (生命)	駒田・廣田 (電機)	関東 12-11
65	2016 平成28	井手明彦 (マテリアル相談役)	田川翔太 (海上)	松本千広 (生命)	江口・近藤 (化学)	本間・半田 (硝子)	松田・泉水 (生命)	上村・尾形 (生命)	関東 16-9
66	2017 平成29	大宮英明 (重工会長)	田川翔太 (海上)	松本千広 (生命)	雨天中止	雨天中止	雨天中止	高山・野田 (生命)	雨天中止
67	2018 平成30	大宮英明 (重工会長)	田川翔太 (海上)	田中文彩 (生命)	東・前田 (重工・ケミカル)	宮川・伊藤 (重工)	本郷・森 (生命)	高山・野田 (生命)	関東 13-10
68	2019 令和元	大宮英明 (重工相談役)	台風影響により中止						
69	2020 令和2	大宮英明 (重工相談役)	COVID-19影響により中止						
70	2021 令和3	大宮英明 (重工相談役)	COVID-19影響により中止						
71	2022 令和4	大宮英明 (重工相談役)	田形諒平 (生命)	足立真美 (生命)	大塩・茂木 (銀行)	牧村・間野 (重工)	米原・清水 (生命)	浦上・井上 (海上)	中止
72	2023 令和5	大宮英明 (重工相談役)	田形諒平 (生命)	足立真美 (生命)	牧村・田畑 (重工)	福田・間野 (重工)	米原・清水 (生命)	安上・名越 (海上)	関東 10-3
73	2024 令和6	隅修三 (海上相談役)	田形諒平 (生命)	足立真美 (生命)	東城・加藤 (海上・電機)	吉田・峰 (重工)	中村・清水 (生命)	中村・太田 (電機)	関東 7-6

注. 第30回大会以降の開催地はすべて東京

140才は第62回大会から開催（従来は130才として開催）

女子シングルスは第63回大会から開催

